

約40日におよぶ長い夏休みも終わりを迎えようとしています。夏休み期間中も生徒会役員は、クロームブックを活用して互いに連絡を取り合いながら生徒会活動を進めていました。その活動の主な内容は、「生徒総会で決議された内容の具体策の検討」、「いわき市と長崎市の生徒会役員の交流会への参加（\*残念ながら参加予定の代表者が発熱により欠席）」、「長崎市中学生議会への参加」です。

生徒総会の具体策については、お知らせを兼ねて別の機会に紹介します。今回は、いわき市との交流会と、中学生議会の様子を簡単にお知らせします。

## ○いわき市・長崎市生徒会リーダー交流会



8月7日に長崎市役所にて、いわき市・長崎市の各中学校の生徒会代表が交流会を実施しました。コロナ禍の間は実施が見送られており、今年は実に4年ぶりの実施となりました。交流会では、互いの街や、長崎市の平和学習、東日本大震災について紹介しあったり、平和について長崎大学の鈴木教授の講話を聞いたりしました。最後は核兵器の廃絶に向けてのグループ討論を行い、平和な世界の実現に向けて活発に意見を交わしました。原子爆弾と原発事故という原子力による被害をともに経験した地域の中学生が、将来の核廃絶実現に向けて大きな力を発揮してくれることと思います。

## ○長崎市中学生議会



8月16・17日の2日間にわたって、長崎市内の各中学校の生徒会代表者が集まり、「いじめ0宣言の実現」に向けた共通実践事項や「住み続けたい長崎市」にするためのアイデアについて話し合いました。話し合いは実際の長崎市議会議場で行われ、いじめ0宣言の実現に向けた具体策や、魅力ある長崎市にしていくための様々なアイデアを出し合いました。各中学校のリーダーとして自分たちの学校が過ごしやすく楽しい場所となるように、そして長崎の未来を担う若者としてふるさと長崎が活気ある街となるように、議論を重ねました。この経験をもとに、各学校と長崎市のさらなる発展に向けて、いっそうの活躍をしていくことを期待します。